

事務局からのお知らせ

(1) 1996年度通常総会報告

1996年5月27日(月曜日)、13:30より笹川記念会館で古浜会長より会長挨拶として、会則の改訂から、理事および評議員の選挙と総会に至るまでの経緯の説明がされ、水素エネルギー協会としての抱負が述べられた。引き続き、議長の選出に移り、(財)エンジニアリング振興協会の岡野一清氏が満場一致で互選され、事務局より、会則第24条により総会が成り立っていることの報告を受け、下記に示す議案について議事が進められた。

議案(『事務局からのお知らせ』の末尾に添付)

議案第1号 平成7年度事業報告の件

議案第2号 平成7年度決算および監査報告の件

議案第3号 会費値上げの件

議案第4号 平成8年度事業計画の件

議案第5号 平成8年度予算の件

議案第6号 平成8,9年度理事、監事および評議員の選挙結果報告

議案第1号および第2号について、山根事務局長より報告と、花田監査より監査報告があり、出席者の満場一致で、承認された。議案第3号会費値上げの件について、値上げの説明が事務局よりあり、会員より値上げはやむをえないが、更に水素エネルギー協会の活動を充実させて頂きたいとの要望が出された。その後会費値上げについての決議を行い、満場一致で承認された。議案第4号および第5号について、山根事務局より提案説明がされ、承認された。最後に、議案第6号平成8,9年度理事、監事および評議員の選挙結果が、渡辺選挙管理委員長より報告され、これについても、満場一致で承認された。その後、選出された理事より、会長1名、副会長2名が会則13条に従って互選され、10分の休憩後、新しく就任した会長、副会長、理事、監事および評議員の紹介を事務局長が行い、記念写真を撮って終了した。

(2) 第4回水素エネルギー日韓合同シンポジウムについて

世界水素エネルギー会議の合間を狙って、平成3年より2年毎に韓国と日本で交互に主催してきた水素エネルギー日韓合同シンポジウムを、来年1997年には、日本で水素エネルギー協会が主催いたします。現在準備委員会を設置して、実施計画を作成中です。本来は、本紙で要領を掲載するつもりでしたが、本紙の発行に間に合いませんので、改めて会員の皆様に連絡致します。

(3) 水素エネルギーシステム研究発表会について

以下のように決定しましたので、多くの参加をお待ちしております。なお、本

年から、思考を多少替えて、企業の方々に PR の展示説明を実施して頂けないかと、現在調整をしております。

- 1) 日時:平成 8 年 11 月 18 日(月曜日)9:30~18:30(意見交換会含)
- 2) 場所:学士会館(320 号室、3F)
- 3) 特別講演:未定(テーマおよび候補者の推薦を依頼したい)
- 4) 参加費(予稿集代を含):
 - 会 員: 8,000 円
 - 非会員: 15,000 円
 - 学 生: 2,000 円
- 5) 意見交換会参加費:
 - 会 員: 6,000 円
 - 非会員: 8,000 円
 - 学 生: 4,000 円
- 6) 今後の日程:
 - (1) 申込案内送付:平成 8 年 8 月 23 日(金曜日)
 - (2) 申し込み締切:平成 8 年 9 月 6 日(金曜日)
 - (3) 予稿前刷原稿締切:平成 8 年 10 月 11 日(金曜日)
 - (4) 一般参加申込案内:平成 8 年 10 月 18 日(金曜日)
 - (5) 一般参加申込締切:平成 8 年 11 月 1 日(金曜日)

(4) 行事の案内

本年度は、下記の行事を計画しておりますので、ふるってご参加下さい。

- | | | |
|------|------------------------------|-------------------------|
| 9 月 | HESS 会誌 Vol.21、No.2 発行 | |
| 10 月 | WHEC11 報告会 | 日時:10 月 22 日
場所:学士会館 |
| 11 月 | 第 17 回システム研究発表会(第 85 回定例研究会) | 日時:11 月 18 日 |
| | 第 4 回理事会 | 場所:学士会館 |
| 1 月 | 第 3 回編集委員会 | 日時:1 月 14 日 |
| | 第 5 回理事会 | 場所:未定 |
| 2 月 | 第 4 回編集委員会 | 日時:2 月 25 日 |
| | 第 6 回理事会 | 場所:学士会館 |
| | 第 86 回定例研究会 | |
| 3 月 | HESS 会誌 Vol.22、No.1 発行 | |
| その他: | 水素エネルギーニュースの発行
会員名簿+会則の製本 | |

(5) 入退会のお知らせ(9 月 14 日現在)

- 1) 会員数 団体会員: 34 社
個人会員: 104 名

2) 平成8年度新入会員紹介

団体会員：伊藤忠ファインガス株式会社(石田 博)

個人会員：福田健三(財団法人エネルギー総合工学研究所)

稲葉誠二(財団法人日本自動車研究所)

笠間 要(株式会社精電舎)

松村幸彦(東京大学)

佐藤岳史(東京大学)

青野文昭(株式会社ベンカン)

退会会員

野村雅宣・醍醐秀博・渡辺弘行・大内仁・石郷岡猛・

村瀬誠・矢澤一彦

(6) 会員増強に対するお願い

国内外では以前にもまして水素エネルギーに対して熱い目が向けられてきております。そこで、この機会をとらえますますの会員の増強をはかり、更に活動の充実を図りたいと考えております。会員の関係者で、水素エネルギーに興味のある方または応援して頂けそうな方々にお声を掛け入会のお誘いをして頂けたら有り難いと思っております。本会の活動及び入会の案内は、本紙の後半に記載されておりますので、宜しくお願い致します。

(7) 水素エネルギーニュース発行について

年2回の会誌の発行のみでは、なかなか水素に関する情報をタイムリに会員の皆様にお届けできないという反省に基づいて、本年度より、水素エネルギー協会編集委員会では、「水素エネルギーニュース」をお届けしております。まだ自信が無いため、不定期の発行と成りますがご期待して頂きたいと思っております。また、会員諸氏からの忌憚りの無いアドバイスを心よりお待ちしております。併せ、情報の提供をして頂けたら幸いです。連絡先は、下記「広告掲載のお願い」の欄に記した所です。

(8) 『資料』の掲載について

メーカーが自社の製品(ただし、水素エネルギーに関するもの)を有料(1万円/1頁:最大3頁)で紹介出来るページを設けました。是非とも皆様および関係者の参加をお願い致します。

(9) 広告掲載のお願い

会誌及びシステム研究会前刷集に掲載する広告を募集しております。1頁当たり3.5

万円です。ご希望の方は、下記編集委員会事務局までご連絡下さい。

連絡先：

武蔵工業大学 水素エネルギー研究センター内

水素エネルギー協会 編集委員会事務局

担当：山根

TEL:03 - 3703 - 3111(内線 3508)

FAX:03 - 5707 - 2222

(10) その他：

1) The 3rd International Conference on New Energy Systems and Conversions について：

第3回 International Conference on New Energy Systems and Conversions が下記の通り計画されておりますので連絡いたします。

1) 開催日：1997.9.8~13

2) 開催場所：Kazan Republic of Tatarstan, Russia

3) 主催：State Committee of Higher Education, RF

Ministry of Science and Technological Policies, RF

Academy of Science, RF

Academy of Science, Republic of Tatarstan

New Energy Systems Society of (NESS), Japan

International Association for Hydrogen Energy(IAHE)

Association of Technical Universities, RF

Association of Engineering Education, RF

Kazan State Technical University named after A.N. Trupolev,

RF

Moscow Institute of Power Engineering, RF

Institute of Power, Academy of Science, RF

Industrial Company" Tatenergo", Kazan, Republic of Tatarstan

4) Conference topics

1. Hydrogen energy systems

2. Solar hydrogen energy systems

3. Renewable energy systems and facilities

4. Energy conversion systems design and operation

5. Comparison of alternative energy systems

6. Simulation and optimization of energy systems

7. "Energy-environment-management"-economy assessments

8. Alternative and prospects for world energy

9. Problems of energy saving

10. Energy-related topics and applications

5) Deadlines:

☆ October 30, 1996

Submission of abstract

☆ November 30, 1996

Preliminary acceptance notice to authors

- ☆ February 15, 1997 Submission of full paper
- ☆ March 15, 1997 Final acceptance notice to authors

5) Registration Fees

- ☆ Until April 30, 1997 After May 1, 1997

Delegates..... 500US\$ 550US\$

Students..... 300US\$ 350US\$

Accompanying

persons..... 300US\$ 350US\$

7) 共 催:新エネルギー関係学会連合会 (NESS)

8)Kazan 連絡先:

Prof. V.S. Tereshchuk

Kazan State Technical Univ.

K. Marx St. 10, 420111 Kazan, Republic of Tatarstan, Russia

Tel: (8432)385260, 365653

Fax:(8432)366032

E - mail: root@Kaiadm.Kazan.SU

9) 連絡先:フロンティア情報学習機構 鎌倉計画室

太田 時男

〒 248 神奈川県鎌倉市稲村が崎 4 - 8 - 15

TEL: 0467 - 24 - 6120

FAX: 0467 - 23 - 5536

2) Hypothesis II held at Campus of Agder College

Topics:

- Aerospace Applications of Hydrogen Technology
- Hydrogen in Ground Based Transportation
- Liquid Hydrogen Technology
- Hydrides for Energy Storage
- Fuel Cell Technology
- Hydrogen Production
- General Issues and Safety

Conference Schedule:

- 2nd Announcement and final call for paper: Aug. 1996
- Deadline for abstracts and preliminary program: Dec. 1996
- 3rd Announcement and registrations: March 1997
- Deadline for revised abstracts: June 1997
- Deadline for papers: Aug. 1997
- Conference: Aug. 18 - 22, 1997

Contact for Information:

水素エネルギー協会 事務局 または 下記事務局へ

Hypothesis II

Faculty of Engineering

Agder College
N – 4890 Grimstad
Norway
E – mail: hypothesis@hia.no

3) 5th International Conference "Hydrogen Materials Science and Chemistry of Metal Hydrides" held at the Rest House of Science in Ukraine

Topics:

- Receipt of Metal Hydrides
- Physical and Chemical Properties of Metal Hydrides
- Utilization of Metal Hydrides
- Hydrogen and Energy
- Hydrogen and Environmental Problems

Conference Schedule

- Deadline for abstracts: Oct. 15, 1996
- Notification of Acceptance: Jan. 1, 1997
- Conference: Sep. 2 – 8, 1997

The official language is English. Paper should be prepared in accordance with requirements of "International Journal of Hydrogen Energy" and presented at the conference.

Contact

水素エネルギー協会事務局または下記まで

Dr. Schur D.V.

Program Chairman, ICHM'97

P.O. Box 799, Kiev – 150,

252150, Ukraine

Fax: (044)444 – 2078

Tel: (044)444 – 0381

以上

議案第1号：平成7年度事業報告

実施月日	行 事 名	会 場
7月24日	第1回幹事会及び編集委員会 第79回定例研究会	学士会館 学士会館
8月28日	団体特別見学会	電力中央研究所 横須賀研究所
9月14日	第2回編集委員会及び幹事会 第80回定例研究会	学士会館 学士会館
9月29日	水素エネルギーシステム Vol.20、No.1 - 2 発行	
10月23日	第3回編集委員会及び幹事会	学士会館
11月20日	第16回水素エネルギーシステム研究発表会 (兼、第81回定例研究会) 第4回幹事会	学士会館 学士会館
1月23日	第5回幹事会および新年会	好文亭
1月29日	第4回編集委員会及び第6回幹事会 第82回定例研究会	学士会館 学士会館
3月25日	水素エネルギーシステム Vol.21、No.1 発行	
5月25日・ 1月29日・	6月14日・ 3月29日	9月5日 10月2日・ 11月10日・ 12月1日
	総会準備委員会実施	

以上

議案第2号：平成7年度HESS会計報告

(平成7年4月1日～平成8年3月31日)

水素エネルギー協会事務局

収入(単位:円)

前年度繰越金	1,559,791 -
	(含預り金 21,772)
団体会員会費	2,100,000 - (35団体)
個人会員会費	460,800 - (96人)
システム研究発表会収入	647,000 -
雑収入	211,203 -
広告掲載費	210,000 -
預貯金利息	803 -
その他	400 -
会費預り金(8年度分)	14,400 -
会費未収入金	81,600 - (6年度4人)
	(7年度13人)
収入合計	5,074,794 - (A)

支出(単位:円)

定例研究会開催費	596,029 -
機関誌発行費	927,211 -
システム研究発表会費	706,388 -
総会準備委員会費	172,350 -
会議費	220,878 -
通信費	219,100 -
交通費	160,000 -
事務用品費	75,990 -
事務委託費	600,000 -
雑費	45,057 -
前年度預り分納付	21,772 -
支出合計	3,744,775 - (B)

未収入金	81,600 -
会費預り金	14,400 -
次年度への繰越金	1,234,019 -
合計	1,330,019 - (C)

差引残高 (A) - (B) - (C) = 0 円

慎重な審査の結果、上記の通り間違いがない事を証明致します。

平成8年4月8日

花田卓爾



議案第3号：会費値上げ説明資料

1. 現行会費（昭和55年より変更していない）

個人会員費： 4,800円／年
団体会員費： 60,000円／年（一口）

2. 値上げ理由：

(1) 繰越金が平成6年より毎年30～40万円ほど減少してきている。

(2) 30周年記念行事積立金100万円を繰越金から差し引くと、平成8年度の繰越金は、234,019円しか残らない。現行の会費のままだと、来年は赤字に成る。現在、本会の活性化、質の向上を目指して、定例研究会には、予稿集の発行を実施、また会誌については、特集の充実、専門家による論文査読の実施、解説および資料記事の充実をこの数年はかかってきている。併せ、『水素エネルギーニュース』の発行も始めた。

(3) 本会の今後の発展を目指して改訂した会則に従って運営するには、総会、評議員会を開く。その為の資金が本年度より必要である。

(4) 現行の会誌、一年間一人当たりのコストは、6,600円で、現行の個人会費4,800円を上回っている。しかし、個人会費を大幅に値上げすることは出来ない。

3. 値上げの提案

個人会員費： 8,000円／年
団体会員費： 80,000円／年（一口）

4. 値上げ開始年度

平成8年度

以上

議案第4号：平成8年度事業計画（案）

実施月	行 事 名	備 考
4月	平成8年度第1回理事会 平成8年度第1回評議員会	日時：H8.4.26 場所：学士会館
5月	平成8年度第1回編集委員会 平成8年度第2回理事会 第1回通常総会 第83回定例研究会	日時：H8.5.27 場所：笹川記念会館
8月	特別見学会 第2回編集委員会 第3回理事会 第84回定例研究会	日時：未定 場所：未定 日時：未定 場所：未定
9月	HESS会誌Vol.21、No.2発行（システム研究会のCall for Paper） （日韓ジョイントシンポジュームの ”）	
10月	WHEC11報告会	日時：未定 場所：未定
11月	第17回システム研究発表会（第85回定例研究会） 第4回理事会	日時：H8.11.18 場所：未定
1月	第3回編集委員会 第5回理事会	日時：未定 場所：未定
2月	第4回編集委員会 第6回理事会 第86回定例研究会	日時：未定 場所：未定
3月	HESS会誌Vol.22、No.1発行	
その他	水素エネルギーニュースの発行 会員名簿＋会則の製本	

以上

議案第5号：平成8年度 HESS 予算（案）

自：平成8年4月1日

至：平成9年3月31日

平成8年4月26日
水素エネルギー協会事務局

収入の部

前年度繰越金	1,234,019 ※1
団体会員会費	2,720,000
個人会員会費	902,400 ※2
雑収入	280,000
システム研究発表会収入	710,000
WHEC11 報告会収入	1,000,000
合計	6,846,419

支出の部

定例研究会開催費	680,000
機関誌発行費	950,000
システム研究発表会支出	710,000
WHEC11 報告会費	1,000,000
会議費	340,000
通信費	220,000
交通費・旅費	470,000
事務経費	100,000
事務委託費	600,000
雑費	75,000
総会準備会費	330,000
次年度繰越金	1,371,419
合計	6,846,419

※1： HESS30周年記念行事準備金100万円含む。

※2： 平成7年度個人会費未収入金（13人分）を含む。

以上

議案第6号：理事、監事および評議員選挙結果

1. 役員

1.1 理事

伊原 征治郎（日本工業大学）
内田 裕久（東海大学）
太田 時男（フロンティア情報学習機構）
小松 征男（岩谷産業株式会社）
斉藤 泰和（東京理科大学）
鈴木 讓（株式会社鈴木商館）
福田 健三（財団法人エネルギー総合工学研究所）
古浜 庄一（武蔵工業大学）

1.2 監事

花田 卓爾（テイサン株式会社）
渡辺 潔（出光興産株式会社）

2. 評議員

神谷 信行（横浜国立大学）
亀山 秀雄（東京農工大学）
小関 和雄（株式会社富士電機総合研究所）
桜井 茂徳（トヨタ自動車株式会社）
佐野 寛（地球エネルギーシステム研究所）
竹中 啓恭（通産省工業技術院大阪工業技術研究所）
谷生 重晴（横浜国立大学）
丹下 昭二（日産自動車株式会社）
堤 敦司（東京大学）
豊永 肇（大阪ガス株式会社）
西尾 晃治（三洋電機株式会社）
畑尾 成道（日本工営株式会社）
服部 達雄（東京ガス株式会社）
松永 是（東京農工大学）
三宅 淳（通産省工業技術院産業技術融合領域研究所）

以上